

(表 紙)

## 褒 賞 申 請 書

活動名（表題）

【にいがた朝ごはん】プロジェクト

～私たちは地域の食文化を継承します～

申請団体（申請単位） ※申請単位（団体）を○で囲んで下さい。

ブロック

新潟 県

青 年 部

支 部

申請青年部員名	青年部 太郎 ⑩
施設名	*****旅館
活動時青年部役職	***委員会 委員長
住所	〒123-4567 新潟県岩船郡*****1234-5
TEL 1234-56-7890	FAX 1234-56-7890
E-mail info@takanosu.jp	

振 込 先	(ふりがな) せいねんぶぎんこう (ふりがな) 青年部してん
	(銀行名) 青年部銀行 (支店名) 青年部支店
	(預金種別) : ⑩普通 ・ 当座 (口座番号) 1234567
	(ふりがな) せいねんぶ たろう
	(口座名義) 青年部 太郎

## 活動内容報告書

1. 活動年月日 平成23年9月1日より	2. 継続回数 通年	3. 参加旅館件数 県内19地域153軒
4. 担当青年部員数 18人	5. 動員数 160人	6. 合計予算規模 年間7,000,000円
<p>6. 活動内容（400字以内）</p> <p>新潟には美味しい『米』があり、その土地の水で炊き、その土地の食材で作ったおかずと共に食べて頂く、この食文化の再発掘と新しい味覚との出逢いが『にいがた朝ごはん』プロジェクトです。</p> <p>県内の19地区（夏の時点）の温泉地で採れる『米』に合った「おかず」をそれぞれの温泉地で提供するため、地元食材や特産品を生かしたおかずを考案し、各温泉地ならではの朝ごはんを提供しています。また、美味しい朝ごはんの思い出を、お土産としてお持ち帰りいただけるように生産者・加工業者と連携して開発したものが「にいがたごはんの素」です。</p> <p>また、昨今のTTP問題、米のトレーサビリティにも着眼し、各地域の生産者・加業者だけではなく、県・食品流通課との連携により積極的に取り組み、Webサイトを通じての情報提供だけでなく、各地域のバックグラウンド・メニュー開発エピソードなどを掲載しております。</p>		
<p>7. 当初の目的、目標の達成状況についてご記入下さい。（200字以内）</p> <p>えちごせきかわ温泉郷では県内一の面積という事もあり食材も豊富で、お米も新潟三大コシヒカリの岩船米をご提供していますので、日本食の原点でもある「一汁三菜」を目標に取り組みました。</p> <p>現在では、地元生産者・加工業者・観光協会・温泉旅館の若手中心が一体となって、作付けの提案、商品開発など連携がうまく構築され、地産地消「メイド・インせきかわ」として更なる事業展開を検討しております。</p>		
<p>8. 実施に際し、難しかった点、苦労した点についてご記入ください。（200字以内）</p> <p>秋からの参加地域は22地域146軒となりますが、朝ごはんの3つの<sup>こめじるし</sup>※（定義）を全員で共有する事、各地域のメニューとりまとめ等に苦労をいたしました。また、共通の「おかず」がどれで、どの様に周知していくのか試行錯誤いたしました。</p> <p>各地域では、小規模でも数の集まった地域、大規模旅館・ホテルが入った地域での食材の確保や、板場との壁にぶつかるお宿もございましたが、逆に打ち解けるいい機会になったとの声もありました。</p>		

※ この頁の要約内容は全国大会時の「公式パンフレット」に掲載させていただきます。  
必ず記入して下さい。

## 褒 賞 申 請 推 薦 書

北関東信越ブロック

ブロック長・青年部 次郎

㊟

### 推薦文（意見文）

新潟県を代表する取り組みです。新潟県の主要な温泉地・地域を巻き込んだ素晴らしいプロジェクトです。メディアにも多く取り上げられ、農商工連携のお手本となるこのプロジェクトは県知事、副知事、観光協会の一押しでもあり、ここで生まれた連携は地域の財産となっていくます。北関東信越ブロック長として自信を持って褒賞推薦を致します。宜しくお願いします。

- ※ 支部青年部としての申請は所属県部長の推薦、県青年部としての申請は所属ブロック長の推薦、ブロックとしての申請は所属県部長全員の推薦をお願いします。
- ※ ブロックとしての申請の際は、褒賞申請推薦書を所属県部長の人数分をコピーしてご利用下さい。